

## 【参考】フィアスホーム

### 特別優秀賞「arietta(アリエッタ)」(3-6 地域)

『arietta(アリエッタ)』は、北海道地域の省エネ基準をクリアする最高水準の断熱・気密性能をベースに、風や光などの自然エネルギーを活かす工夫を盛り込み、これまで体験したことのないような心地よさを、そしていつ起きるかもしれない有事に対する強さとしなやかさを兼ね備えた住まいです。

#### ●建物外皮・設備機器について

樹脂系断熱材と構造用パネルを一体化させたオリジナルの『粘震+eパネル』で建物全体を囲うことで、北海道の基準をクリアする最高水準の断熱性能を実現。さらに、付加断熱により $U_A$ 値※ $0.27\text{W}/\text{m}^2\cdot\text{K}$ という欧州の高い基準に並ぶ断熱性能を実現した商品もラインアップしています。

また、気密性能の自社基準をC値(隙間相当面積) $1.0\text{cm}^2/\text{m}^2$ 以下と定め、全棟測定を実施。直近で調査した実物件の平均値は $0.39\text{cm}^2/\text{m}^2$ で、基準を大きく上回る実績となりました。暖冷房や換気設備等の設備機器には、太陽光発電システムや地中熱を利用したヒートポンプ式エアコンなどの再生可能エネルギーを活用する住まいを提案しています。

※ $U_A$ 値:外皮平均熱貫流率を指します。外皮平均熱貫流率は、住宅の断熱性能を表し、数値が小さいほど性能が高いことを表しています。北海道基準は $0.46\text{W}/\text{m}^2\cdot\text{K}$ 。

#### ●多様なエネルギー手法の導入について

自然の力を活かして快適に過ごせる『パッシブ設計』を取り入れました。通風では、全居室2面開口や、複数の形状の窓を組み合わせることで大きな通風効果を得られる窓「フル3Dウインドウ」、袖壁の内側に入った風を屋内に取り込むウインドキャッチ提案などを採用。また、深い軒の出や袖壁により、夏季には日差しや熱気の進入を抑え、冬季には日差しをたくさん取り込みます。

#### ●省エネルギー住宅普及への取り組み

フィアスホームは、ZEHビルダー登録事業者として2020年度までのZEH住宅普及目標を50%以上と掲げ、省エネ住宅の普及に取り組んでいます。2017年度は10%の目標を大きく上回る15%を達成しました。さらに、設計段階での省エネ効果を、年間光熱費・一次エネルギー消費量削減率(ZEH適合判定)に置き換えて提案する「eレポート」や、施工した建物の気密・断熱・燃費性能を数字・グラフで見えるようにした「性能報告書」を邸別に用意。性能を見える化してお客様に提供しています。



左から、アリエッタバルデア外観、アリエッタ内観、フル3Dウインドウ、深い軒の出の採用例、「eレポート」と「性能報告書」

